

国際ロータリークラブ第2570地区 第4グループ



NO 40 - 15 第1932回例会 10月 17日 2002年 10月 24日発行

会長 梅村 孝雄、会長エレクト 高井 和夫、副会長 渋谷 修身、幹事 小林 雅幸

《本日の例会》

卓話

「本庄の未来像」

早稲田大学本庄高等学院
教諭 風間 益人様

点錠 午後12時30分
進行 岩渕 富男 SAA
ソング 「それでこそロータリー」齊唱
「四つのテスト」齊唱
金井 澄雄 ソングリーダー

会長挨拶・報告

梅村 孝雄 会長

皆さん今日は。本日のお客様をご紹介いたします。早稲田大学本庄高等学院の風間益人先生です。ようこそ本庄RCの例会にお出で戴き有難うございます。後ほど卓話をいただきますが、プログラム委員会より先生のご紹介宜しく御願いします。

本庄に早稲田大学が来るぞ、とのニュースを聞いたのは昭和36年ころ確か増野市長さんの時代と記憶しております。本庄ロータリークラブ創立以前でした。あれから随分長い年月が経ちましたが、いまや早稲田は完全に本庄の地に定着しており、新幹線新駅も『早稲田駅』でも良いのではないかとの意見も聞こえています。先週のTAOの世界に誇る設備にはびっくりしましたが、先生のお話で早稲田が一段と身近に感じられる事と思います。

今月は職業奉仕月間です。私の職奉活動をこの機会に少し話させてください。

私の職業分類は、医薬品卸売業です。病院や調剤薬局に医療用医薬品を販売しております。世の中大不況の中医薬品産業は多少はまともと言われておりますが、そ

の実態と中身の現実は凄まじいもので、1988年昭和63年418社あった医薬品卸連合会加盟卸が、今では170社に減少しており、今後もかなりの減少が予想されております。当社は日本の業界の中では、100番目位ですが、何とか頑張っております。

お話ししたい事は、流行性感冒インフルエンザの事です。冬になると風邪が流行ります。しかしわゆる風邪とインフルエンザはまったく違います。インフルエンザはウイルスによって起こる感染症で赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年齢層に感染し発病します。特に高齢者では、肺炎などの合併症を起こし死に至る事もある恐ろしい病気です。罹ってしまったら始末に負えません。治療薬も開発がされていますが完全なものではありません。しかし予防手段があります。ワクチンを少なくとも流行期の3週間前くらい、11月中には接種する事をお勧めします。転ばぬ先の杖、流行前のワクチン接種こそ、この冬を健康で明るく過ごすための健康管理の基本です。勿論ワクチンを接種してもインフルエンザには罹る場合がありますが、多くの場合、症状は軽くなることは学術的に証明されています。特に満6歳以上の方には市町村の配慮により、負担金1000円でワクチン接種できます。信頼出来るロータリー会員の先生方の診療所に早めに相談し、皆さん会員のみならず、年齢を問わずご家族、社員全員の接種をお勧めします。風邪は万病の基、こじらせて長引かせた時に引き起こされる、様々な障害や健康を害しての経済的なマイナスは、ワクチン接種の一時的な出費の比では有りません。皆さん、健康的な冬が過ごせ、先生方には診察料と注射料、そして私の会社はワクチンが売れるという大変有益な、貴重な職奉ニュースをお知らせしました。

韓国で開催されたアジア大会で評判になった日本チームのユニホーム996着を、我がクラブの古瀬さんの経営する、東栄株式会社が作成された事をお知らせします。奉仕と国際親善のためと言うことで余り儲からなかつたと聞いてありますが古瀬さんよりお話をいただきます。

幹事報告

小林 雅幸 幹事

- 本庄市ボランティアセンターよりばらんていあにゅーすが届いております。
- 第2回親子絵手紙教室が10月19日(土)13:30より中央公民館で開催されます。会員の皆様のお手伝い、見学をお願いします。なお、今週の会報の最後のページに第1回に参加された戸谷丈さんの写真と作品が掲載しております。

を経て早稲田大学本庄高等学院開設準備委員から現在教諭になっておられます。20年前から本庄市民となり、NHKラジオ第2「高校講座」「現代国語」を講師として担当され、また本庄の文学座にも深く関わり現在は早稲田大学評議委員としても活躍されています。本日の卓話は「本庄の未来像」についてお話をいただきます。

・ 早稲田大学本庄高等学院 教諭 風間 益人様

「本庄の未来像」



委員会報告

国際奉仕委員会

後藤 芳生 委員長



日豪青年相互訪問団員募集の件が有ります。
従来対象は高校生でしたが年齢の幅が広がり、今年は満16~25歳の青少年で期間は3月中旬~3月末で期間がやや短縮されました。希望者はガバナー事務所提出が11月16日なので10日をめどに委員会に申し出てください。

卓 話

・ 紹 介

プログラム委員会 茂木 聰 委員



風間先生の略歴をご紹介いたします。 都立高校教諭

「外からみた本庄」という題が与えられましたが、東京、目黒から移り住んで約20年になるので外からではなく「本庄の未来像」について述べたいと思います。

かつてスピルバーグの「Back to the future」と言う映画がありましたが直訳すれば未来へ戻れですが、作家の堀田よしえは過去の歴史と現実を見つめて本質を分析して行けばその中に未来像があると言っています。

そこで本庄の近代史を考えるうえで大事な二つの事件がありました。そのひとつは明治11年8月に佐野常民が「本庄遷都」を元老院に建議された事は本庄市民が誇りにすべき事だと思います。

また佐野常民は海軍の創始者であり、日本赤十字社の前身博愛社の創始者であります。「本庄遷都」の理由は東京から86Kmの距離であり地震が少なく自然環境に恵まれているという理由からであります。

もうひとつは「暴力の町」という題で映画にもなった「本庄事件」であります。昭和23年 朝日新聞浦和支局の記者が暴力をうけ、当時暴力団と警察が癒着していたにもかかわらず市民と学生が暴力追放にむけ立ち上がりました。これは市民による民主化運動の模範としてこの映画が製作されました。

この二つの事件は本庄の歴史を知るうえでも大切な事件であり本庄の未来を見据えるうえでも教訓になる出来事であります。

さて未来へむけての提案でありますが今後早稲田リサーチパークを始めとする未来産業の担い手たちが、学生を含め本庄にやってくるわけですから例えば周辺の大

学生や若者による本庄再開発のコンペを催すなど官製でない発想で若者と地域とが一体となって未来の本庄の町づくりをする事が大切であります。その重責を是非本庄ロータリーに担ってほしいと思いますし、またロータリーホームへ期待するところ大であります。

スピーチ

・ 古瀬 末雄さん



風間先生が佐賀藩士佐野常民についてお話になられましたが、私も佐賀の出身で早稲田の創設者大熊重信も佐賀出身であり早稲田大学と本庄は所縁があるのだと思います。

先般行われたアジア大会の制服を受注いたしました。最初は男500着 女300着との事でしたが最後には190着増え時間的な制約の中での仕事に加え大変なのは候補者が決まった直後、地元へ帰る前に各選手の寸法を取らなければならずしかも体重100Kg のひとから2M 近い身長のひとまでいるため大変でしたが納期に完納出来ました。お礼にと選手の色紙を頂きましたので次回にご披露いたします。

富沢 理 秋たけなわです。稻刈りもたけなわです。
南 正 なんとなく。
町田 国彦 スポーツの秋、芸術の秋、食欲の秋の到来です。皆さん、健康に留意し、おおいに楽しみましょう。

(以下同文でご投入がありました。)

並木 孝幸・古瀬 末雄・茂木 正

茂木 敏彦 欠席がちなので。
佐藤 敬一 早退します。
矢島 淳一 ニコニコボックス委員会の皆さん、毎週ごくろう様です。

(以下同文でご投入がありました。)

戸谷 丈

本日の投入金額合計￥31,000

出席委員会

矢島 淳一 委員長

会員数	出席免除会員	出席義務会員	出席会員	出席率
105名	6名	99名	71名	72.0%

(内メーキャップ23名)

施設見学 TAO



ニコニコ BOX 委員会

関根 昇 副委員長

(順不同・敬称略)

水上 登美晃 風間先生(早稲田)本日の卓話よろしく御願いします。

(以下同文でご投入がありました。)

梅村 孝雄・小林 雅幸・中村 孝・高柳 育行・
戸谷 清一・野澤 章夫・石原 輝弥・岡崎 正六・
関根 昇・春山 茂之・狩野 輝昭・横尾 弘明・
茂木 聰・三宅 健吉・渋澤 健司・岩本 英人・
飯島 憲司・野村 正行・岩渕 富男・岡井 正美



クラブ会報委員会

三宅 健吉、高橋 誠一、近藤 伸侑、田中 克、福島 正美、巴 高志、
田中 宏樹、並木 孝幸

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30

例会場 埼玉グランドホテル本庄

事務所 埼玉グランドホテル本庄 700 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1

TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571 E-mail honjorc@themis.ocn.ne.jp

ホームページ <http://www.globals.co.jp/hp/HRotary/index.html>